

＜グループワーク＞

ロジックモデルを活用した

在宅医療・介護連携推進の施策マップの作成

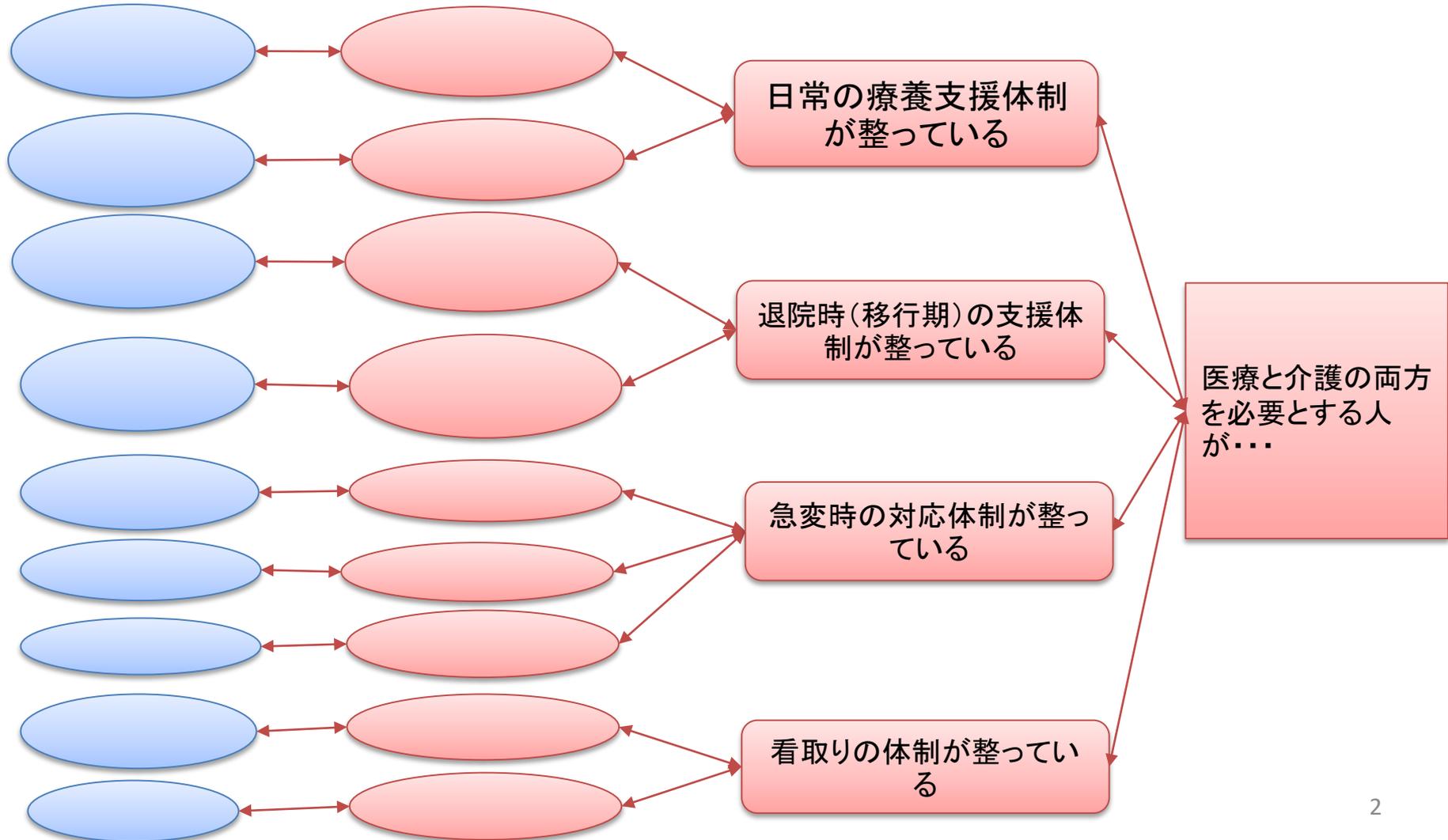
在宅医療・介護連携の施策・指標マップ例

施策アウトプット
= 取組み

初期アウトカム
= 中間アウトカムを達成するために必要な状態

中間アウトカム
= サービスの状態

最終アウトカム
= 住民の状態



グループワークの進め方

1. 「最終アウトカム」

＝住民・患者・利用者の状態

※「自分がどんな医療・介護を受けて生活したいか」「住民になって欲しい姿」

2. 「初期アウトカム」＝「中間アウトカム」を達成するために必要な状態

※今回は「中間アウトカム」を「日常の療養支援体制」に絞る

3. 「施策アウトプット」＝「初期アウトカム」を達成するための取組み、今年度まで行ってきた取組み

4. 「最終アウトカム」「中間アウトカム」「初期アウトカム」「施策アウトプット」が論理的につながっているか確認・吟味

5. 発表